

予約制乗合タクシー実証実験について

令和6年 6月 6日 (木) 10:00～

みやま市 総合政策課

1. 前回からの経過報告

2月13日に開催した前年度第4回会議からの経過を報告します。

1-1 コミュニティバスに関する現状の確認

■現状概要

- ・車両を6台利用し、8路線を運行。各路線は、3～10便の運行。
- ・各バス停の乗降者数は、1人/日以下が約8割。利用者が最大の道の駅みやまは約21人/日、続いて平木耳鼻科前およびみやま市役所16人/日、ヨコクラ病院前12人/日。
- ・1号車：高田・瀬高線（国道209経由）や2号車：山川・瀬高線は年間1万人近い利用がある一方、6号車：山川・高田線（田浦・田尻経由）、4号車：山川・高田線（亀谷・竹飯経由）、6号車：高田南部・西部線の利用者が2,000人以下。
- ・月別の利用者は、4月が最も多い。
- ・各号車の月間平均の乗車人数で最も多くなるのは、2号車：山川・瀬高線の10時頃の7人、それ以外は最大でも2～4人の乗車人数。通学利用等による時間帯による大きな需要の偏りはない。
- ・利用者の8割以上は65歳以上。
- ・バス停の数は多いものの、バス停までが300m以上となる65歳以上の居住者も多い。

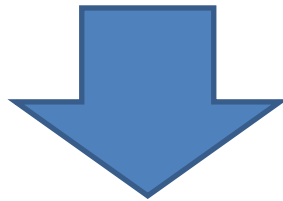
■まとめ

- ・目的地は非常に限られているが、居住地は面的に広く分布しており出発地は様々。
- ・利用者数は一日100～150名程度。
- ・路線の時間帯別輸送量の観点から、幹線と位置づける路線はない。
- ・特に4号車、6号車の空き便率が高く、高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）を除けば、平均のピークでも2人以下の状況である。一方で、他の公共交通がない現状では廃止は困難。よって、何らかの代替手段の検討が急務。
- ・上記路線を除いても、利用者数が非常に低迷しており、再編の必要性は高い。
- ・特に高齢者の移動特性及び居住地に配慮した再編が必要。

1-2 コミュニティバスを含めた交通体系の再編方針

■再編方針

- ・利用者数が一日100～150名程度と想定。
- ・主な利用者である65歳以上であること、また今後の高齢化のさらなる進行を考慮。
具体的には、歩行が困難な高齢者での利用を円滑にするバス停位置、移動実態に見合った運行時間・運行エリア・運行方法とする。
- ・実質的な便数を増加させることで利便性の向上を図る。
- ・さらなる交通空白地域の解消を図る。
- ・サービス供給量を需要に合わせて調整する。
- ・4号車、6号車の再編を先行的に実施し、将来は市内全域を対象。



課題解決の手段として、デマンドタクシーの活用が効果的と考えられる。

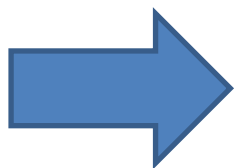
1-3 実証実験当初案→2/28開催の見直し委にて差し戻し

○実証実験案①

検討項目	運行方法等	選定の理由
運行形態	区域運行方式	交通空白地域を面的にカバー、必要な区間のみ運行するため効率的
対象地区	市内全域	市民全体の利用ニーズ把握
運行エリア	(1)市内全域(どこでも乗降可) (2)降車場指定(公共施設、医療機関、商業施設等)	(1)交通空白地域が複数あり、エリア設定が難しい (2)降車場が限定されるため、(1)に比べ効率的な運行ができる
導入期間	令和6年10月1日～令和6年12月28日	
運行曜日	月～土	現行のコミバスと同じ曜日で運行
運行時間	8:30～17:00	主な利用目的が通院・買い物のため、昼間時間帯で実施
運行台数	4台(セダンタイプ)	近隣自治体を参考
利用料金	300円～700円(距離に応じて変動) ※コミバス回数券の利用可	近隣自治体を参考。本市の面積及びタクシー事業者との調整を図り、料金変動制で実施
予約方法	電話、インターネット	利用者の多くが高齢者と予想されるため、電話が多数と思われる
対象者	市民のみ	市民の利用ニーズを把握するため、対象者を限定
決済方法	現金	実証実験のため現金のみ

1-4 見直し検討委員会で出された主な意見

属性	意見の内容
交通事業者	<ul style="list-style-type: none">・タクシーとのすみ分けが明確でなく、<u>事業者にとって脅威</u>である。・デマンドありきのようだが、システム面含めてイメージが浮かばない為、みやま市の状況に合う形で運用できるのか不安・市内全域をタクシー 3 台で需要に対応できるのか。・前日までの予約制として、予定できない帰りはタクシーを使ってもらおうとタクシーとのすみ分けができる気がするが。
学識経験者	<ul style="list-style-type: none">・実証期間中コミュバスを廃止せずに実施しても必要なデータが集まるのか。並行実施してどのようなデータをとりたいのかを明確にする必要がある。・市には実証実験を設計するにあたって、どんな目的があり、そのためにどのような手段を検証するといった<u>ストーリー</u>で説明してもらおう必要がある。
市民代表（区長・民生委）	<ul style="list-style-type: none">・年配の方は福祉バスからの流れで長く利用されている方も多いため、<u>福祉の観点を取り外していくことはできない</u>と思う。



先進地視察を実施し、実情を把握の上、案を再検討してほしい。

1-5 先進地視察結果（4月18日実施）

参加者属性：交通事業者、県職員、市議会議員、市民代表（民生委員・公募委員）

	荒尾市 人口 49,300人 面積 57km ²	玉名市 人口 64,000人 面積 150km ²
運行方式	フルデマンド (ドアツードア)	セミデマンド (時間指定、エリア指定)
台数	EV車 3台	平日 21台 土日祝 8台
料金体系	距離 300円～700円	エリア内 300円 中心地 400円
特記事項	<ul style="list-style-type: none">・路線バス等が機能している。・山あいのエリアは別途乗合タクシー制度を設けている。・タクシーとのすみ分けは、乗降補助や買い物時待機等の部分が主となる。	<ul style="list-style-type: none">・中心エリアが存在し、路線バス等が機能している。・福祉の視点では別途外出支援サービスや福祉バスを運行している。・時間・エリア指定のため、1時間以内に行って帰ってこられる距離が条件。

事務局の所感

・セミデマンドが効率的であるが、ニーズを把握していない現状では本市に最適なエリア指定その他の条件設定ができない。

2. 実証実験案

見直し検討委員会での意見と視察を経て、次のとおり再提案いたします。

2-1 予約制乗合タクシー実証実験（案）

実証実験案

実証期間	10月	11月	2月 ※1
対象者(市民限定)	高田山川地区住民	瀬高地区住民	高田・山川地区住民
運行エリア	どこでも乗降可		<ul style="list-style-type: none"> ・各エリア内はどこでも乗降可 ・エリア外は指定※2
	<u>ただし、乗降の内どちらかは必ず自宅であること。</u>		
運行業務委託事業者	<u>市内タクシー事業者3社を想定</u>		
運行曜日	月～土（祝日を含む。）		同左
運行時間	8：30～17：00		1時間ごとの指定※3
運行台数	3台（セダン・ジャンボタクシー）		同左
利用料金 ※審議・決定は運賃協議会	一律300円程度		<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内 300円程度 ・エリア外 500円程度
予約方法	電話・インターネット (前日から当日60分前まで)		同左
決済方法	現金のみ		同左

※1 2月の実施内容については改めて提案予定。現状は仮のイメージです。

※2 市役所、MIYAMAX、道の駅、瀬高駅等を想定 ※3 玉名方式を想定

2-2 再提案に対する見直し検討委員会での主な意見(5月24日開催)

	意見内容	意見への対応
1	メインターゲットが高齢者であることを想定し、デマンドではなく日本語で理解できる名称とすべきではないか。	今後、予約制乗合タクシー実証実験と表記していきます。
2	実証中の需要に対応できるのか。3台ではなくもっと台数を増やす方が良いのではないか。	予算上の制約があり、3か月の実証実験であれば3台が最大です。需要に対する対策としては、エリアを分けて実証することで対応したいと考えています。
3	ターゲット(利用者)を絞るべきではないか。	コミュニティバスの再編も視野に入れた実証のため、コミュニティバスの利用対象者を原則的にすべて対象としたいと考えています。ただし、今回は市民という制約のみ条件に設定します。
4	周知が重要であると思うが、どのように考えているか。	現在のスケジュールではシステムベンダとの契約ができるのが7月末の予定です。その後システムの構築次第周知と考えておりますが、実質9月からの1か月程度になる見込みです。広報紙面やチラシはもちろんです。高齢者が集まるサロン等の場も活用し、効果的な周知を検討していきたいと考えております。

再掲) 予約制乗合タクシー実証実験 (案)

実証実験案

実証期間	10月	11月	2月 ※1
対象者(市民限定)	高田山川地区住民	瀬高地区住民	高田・山川地区住民
運行エリア	どこでも乗降可		<ul style="list-style-type: none"> ・各エリア内はどこでも乗降可 ・エリア外は指定※2
	<u>ただし、乗降の内どちらかは必ず自宅であること。</u>		
運行業務委託事業者	<u>市内タクシー事業者3社を想定</u>		
運行曜日	月～土 (祝日を含む。)		同左
運行時間	8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0		1 時間ごとの指定※3
運行台数	3 台 (セダン・ジャンボタクシー)		同左
利用料金 ※審議・決定は運賃協議会	一律300円程度		<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内 300円程度 ・エリア外 500円程度
予約方法	電話・インターネット (前日から当日 6 0 分前まで)		同左
決済方法	現金のみ		同左

※ 1 2月の内容については改めて提案予定。現状は仮のイメージです。

※ 2 市役所、MIYAMAX、道の駅、瀬高駅等を想定 ※ 3 玉名方式を想定

2-3 実証実験による効果検証のイメージ

効果検証のイメージ			
コミュバス利用者数	デマンド利用者数	仮説	実装への反映
減少	一定存在	コミュバスに対し、デマンドに優位性	デマンド導入の効果が認められる。
変更なし	一定存在	現在のコミュバスで拾い切れていない隠れたニーズが認められる。	傾向を分析し、費用対効果を含め施策への反映を検討
変更なし	少ない	コミュバスに優位性 ※利用者への満足度調査等により、真に優位性があるかの検証は必要	デマンド導入の効果は少ないと思われる。 タクシーチケット等別の施策の検討が必要

※いずれも実証実験が適切に実施されたと仮定。また、単純な利用者数のみではなく、利用者の満足度等も考慮して効果の検証を行う。

3-1 スケジュール案

	R6年度							
	~7月	8月~9月	10月	11月	12月~1月	2月	3月	
システム事業者の決定	▶							
準備・周知	▶							
FD実証実験 高田山川			▶					
FD実証実験 瀬高				▶				
FD検証			▶					
SD実証実験 特定エリア						▶		
結果考察・ 再編案作成				▶				
再編案報告							▶	